

令和4年6月16日

令和3年度の自己点検結果

自己評価委員会

令和3年5月1日における在学生数は、学部生 1,143 人（収容定員充足率 84.0%）、大学院生 8 人（同 26.7%）、助産学専攻科生 10 人（同 100%）で合計 1,161 人であった。各学科の在学生数は、経営学科 175 人（同 87.5%）、福祉学科 105 人（同 43.8%）、こども学科 169 人（同 84.5%）、健康スポーツ科学科 370 人（同 92.5%）、看護学科 324 人（同 101.3%）であった。

令和3年度学部卒業生は、259 人で、経営学科 31 人、福祉学科 17 人、こども学科 44 人、健康スポーツ科学科 90 人、看護学科 77 人であった。また、大学院生 5 人、助産学専攻生 10 人が修了した。

学部卒業生 259 人中 238 人が就職希望者であり、238 人全員の就職が内定して就職率は 100.0%を達成し、実就職率は 95.6%であった。

令和3年度に実施した入試については、令和4年度の入学者数は 279 人（入学定員充足率 82.1%）であった。各学科の入学者数は、経営学科 37 人（同 74.0%）、福祉学科 22 人（同 36.7%）、こども学科 45 人（同 90.0%）、健康スポーツ科学科 97 人（同 97.0%）、看護学科 78 人（同 97.5%）であった。

令和3年度の日本高等教育評価機構の認証評価を受審するため、自己評価委員会を中心にして、自己点検評価書を作成した。アセスメント・ポリシーに基づく自己点検・評価を機能的に実施している点と、IR データ集を策定して教育情報を学内外に公開している点が高く評価されて、「適合」の判定を得た。

数理・データサイエンス・AI 教育プログラムを策定するため、大学教育センター教育改善部門を中心に、教務委員会、一般教育委員会の連携のもと、令和4年度から一般教育科目の中に新たに科目を設け、全学科の学生を対象とした数理・データサイエンス・AI 教育プログラムを開始することができた。